

いいやまの



このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第10回 冬しか見ることができない景色がそこに スノーシューで森・山歩き



なべくら高原や斑尾高原では雪に覆われたこの時期ならではの楽しみ方—スノーシューを履いて森や山を歩く—があります。

夏はやぶなどが生い茂り歩けない場所でも、雪が積もった冬山は自由に歩き回ることができる空間になります。壮大な景色や厳冬に耐える植物の姿、小動物の足跡など冬だからこそ見える風景をお楽しみいただけます。



なべくら高原・森の家 高野賢一支配人のお話



なべくら高原・森の家から2時間

ほど歩くと、天気の良い日は日本海や山々の稜線などの絶景を見渡すことができます。スノーシューは森の家でレンタルしておりますのでお気軽にお尋ねください。

なべくら高原では1/30(土)・31(日) スノーシューフェスティバル2016が開催されます



ナイトハイク

各メーカーのスノーシューを無料体験試乗でき、森の中のコースを自由に散策できます。ガイド付きのショートツアーや1DAYツアーなど初めての方も、たっぷり歩きたい方もお楽しみいただけます。お申込みは1月27日までです。詳しくはなべくら高原・森の家までお問い合わせください。

お問い合わせ先

なべくら高原の情報：なべくら高原・森の家 ☎ 69-2888

斑尾高原の情報：まだらお高原・山の家 ☎ 64-3222

わが家の人気者

川久保 瑛斗くん

えいと

瑞穂地区
2歳4か月
No. 358



姉のここちゃん

「わが家の人気者」に登場していただける2歳3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を！ ☎ 62-3111内線337

このコーナーに出てみませんか？
(倭人さん、まい子さんの長男) な瑛斗くんです。

いつも、車や電車など、お気に入りの乗り物のおもちゃで遊んでいます。最近、パパがお祭りで舞った獅子舞を覚えて踊れるようになりました。瑛斗くんも将来は獅子になりたいと意気込んでいます。
怖いもの知らずな性格です。時々、シャイな一面も見えます。大好きなパンをたくさん食べて、いつでも元気いっぱいな瑛斗くんです。

美術館情報

常設展示の中から今月の1点

50年以上前に描かれたこの作品は、じっくり眺めると、右手をあごにあてて優しく微笑んでいる仏様の姿が見えてきます。絵の裏側に「路傍の石佛に魅せられて心も筆も狂った」と書かれているとおり、一気に筆を走らせる作家の感動が伝わってくる作品です。



岡登貞治『思惟佛』(1962年)

【開館】 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
【休館日】 毎週月曜日
【入館料】 一般300円、市内の小中学生は無料
【問合先】 飯山市美術館 ☎ 62-1501

編集後記

広報担当で良かったなあ」と感じるこのひとつに、写真撮影のためオープン前の建物の中に入れるということがあります。もう一年前になりますが開業前の飯山駅に入場させてもらった時も、たいへん感動しました。▼今回は文化交流館ならぬ記事を作るため、皆さんより一足お先に中に入らせてもらいました。独特なデザインの外観に引けを取らないくらい内部も特徴的な施設となっており、利用者や自然に優しい工夫なども見ることができそうです。早く市民の皆さんにも見ていただきたいと思いました。▼一般公開を前に本紙が皆さんのお手元に届くのがギリギリになってしまいました。紙面6・7ページではなちゅうらの魅力をお伝えできる写真が撮れたのではないかと考えています。▼先の中に入れる特権を与えてもらっている分、市民の皆さんにより多くの情報を伝える責任がある、ということをお忘れず。本年もがんばっていきます。小野沢